

棟風平板瓦型 組立施工マニュアル

 販売店様・加工店様へのお願い
**注意**

- ◎棟風本体の切り詰め加工は、漏水の原因につながりますので行わないでください。
- ◎棟風は屋根棟水平部で一番高い場所の中央部へ取付けしてください。
- ◎棟風は適する屋根と適応屋根勾配範囲内で取付けてください。
- ◎シーリング材はシリコン系をご使用ください。
- ◎回転部のスプラインゴムは絶対に切断しないでください。

お願い

- ◎施工を始めてから手直しが出ないよう事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。
特に設計者や工務店様と取付けスペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- ◎製品の運搬や取付けの際はキズを付けないように気をつけてください。
- ◎建物に取付ける部材・部品は建物のたる木等の構造物に確実に固定してください。
- ◎水平・垂直・直角は必ず正確に出してください。正確に出ていないと取付かない場合があります。
また、十分な強度が出てない場合もあり大変危険です。注意してください。
- ◎取付けの際、釘・ネジ等は規定本数を確実に締付けて固定してください。建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。

 適応屋根

タイプ	屋根材	屋根の形	取付部分	屋根勾配
平板瓦型	平板瓦屋根	切妻及び寄棟	棟の水平部	平板瓦屋根 40/100～100/100

 梱包内容

名称	製品記号	規格寸法	梱包内容
棟風 平板瓦型	SRMBG06	L=600	本体（1） セット部品（1） シーラー（2） 施工マニュアル（1）
	SRMBG09	L=910	
	SRMBG18	L=1820	
ジョイント	RC3A		本体（1）

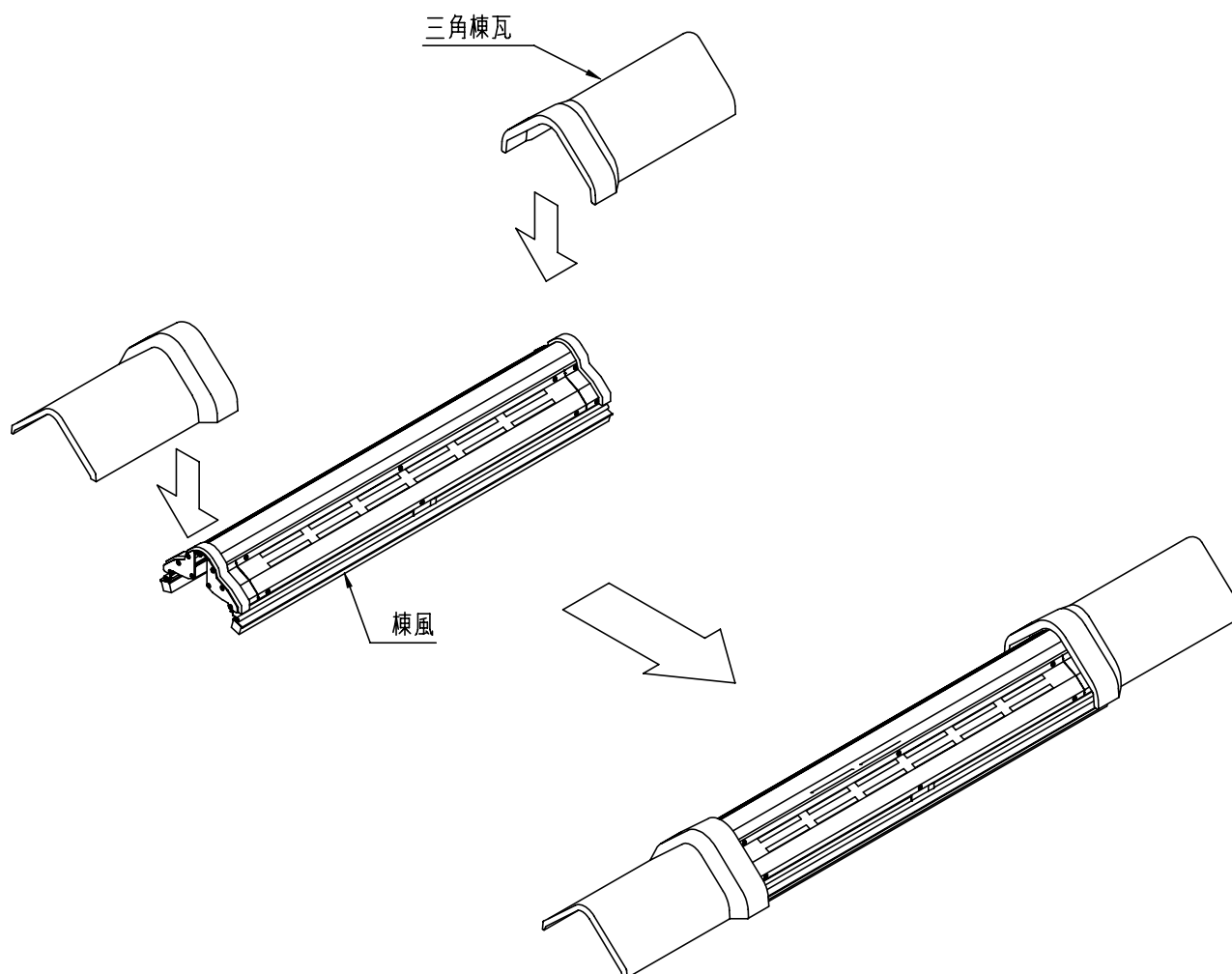
1 対応できる屋根

① 対応できる屋根材

本「棟風」は、平板瓦屋根にあわせた専用設計です。

棟瓦（三角棟瓦）の間に設置し、直接接続して両エンドを納めます。

※棟風をはさんで三角棟瓦の向きが逆転します。



② 対応できる屋根の形

切妻・寄棟の屋根の水平棟に取付が可能です。

③ 対応できる屋根の構造

在来木造・桝組壁工法（2 × 4工法）いずれにも取付けることができます。

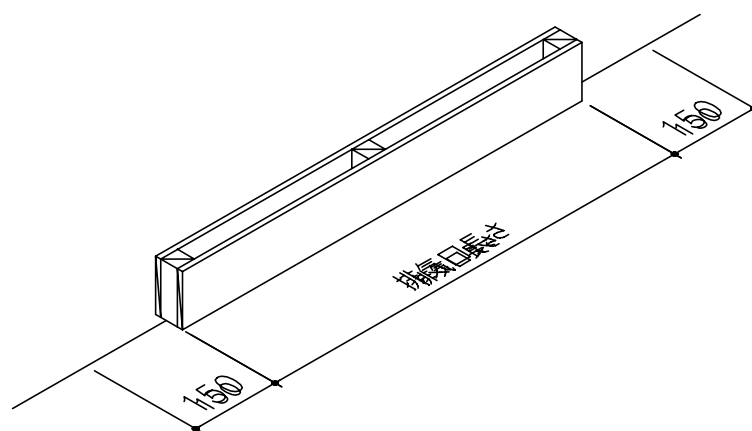
2 設計仕様

①取付本数

- ・「棟風」平板瓦型は1本あたり $L = 1820$ で約 500 cm^2 、 $L = 910$ で約 210 cm^2 、 $L = 600$ で約 120 cm^2 の排気口面積があります。公庫基準値（ $1 / 1600$ ）によれば $L = 1820$ で 80 m^2 、 $L = 910$ で 33 m^2 、 $L = 600$ で 19 m^2 分をカバーできることになります。

②取付位置

- ・棟風本体はできるだけ棟の中央部に取付ます。
- ・棟風本体の取付下地となる棟の排気口の寸法は棟風本体の両端から 150 mm づつ短い寸法（合計 300 mm 短い寸法）とします。
- ・排気口の方立はタル木毎（@ 455 ）に立て両端にタル木が来ない場合は補強して立ち上げます。
- ・吸気口の位置は小屋裏全体がバランス良く換気されるように考慮して決めてください。



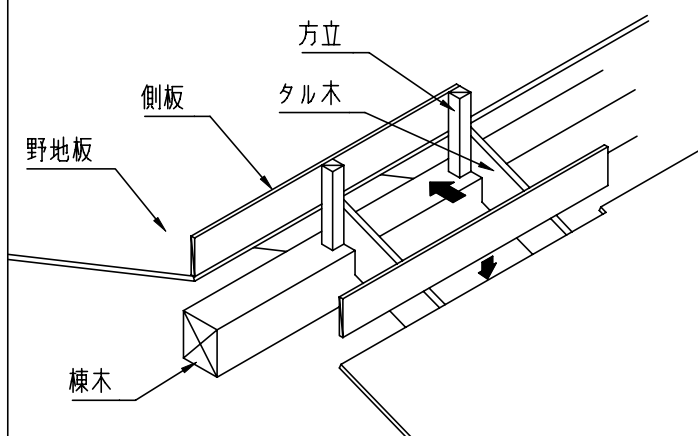


注意

棟風本体の取り付けの際、受け材のサイズ及びその位置が重要となります。
7ページの基本納まり図の寸法を参照し、以降の施工を行ってください。

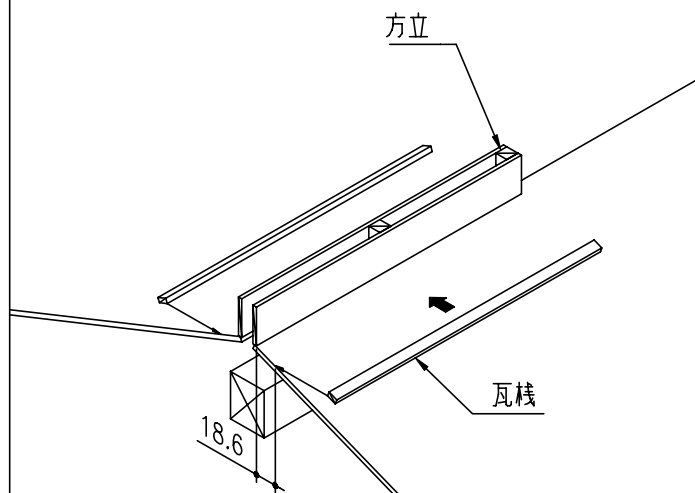
1 方立の施工

- ①方立材はタル木毎（@455mm）に立上げます。
- ②方立材の高さを決め糸を張り‘通り’及び‘高さ’を確認します。
- ③野地板は排気口部分の隙間（40mm）をあけて葺き、2×4工法の場合は野地板の下に合板受けを取付する必要があります。
- ④方立材の両側に合板（厚さ9～12mmを使用してください）の側板を取付けて排気口を囲み、その後再度糸を張り‘通り’‘高さ’を確認します。



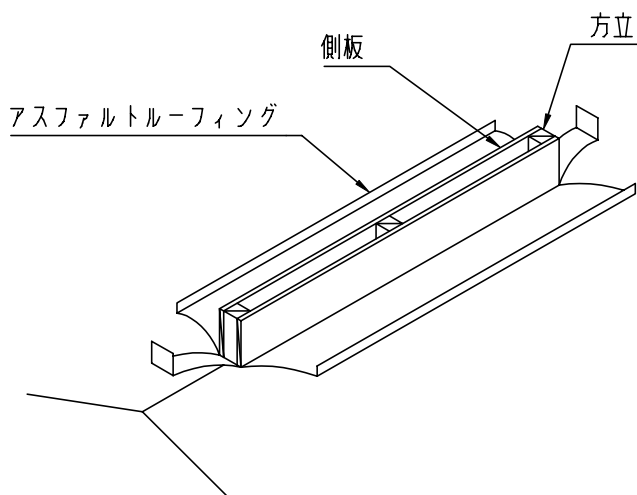
3 瓦棧の施工

- ①最上部の瓦棧の位置は最上部の棧瓦の上端が排気口側板のルーフィングに接するように側板の約18.6mm下にセットして打ちつけてください。



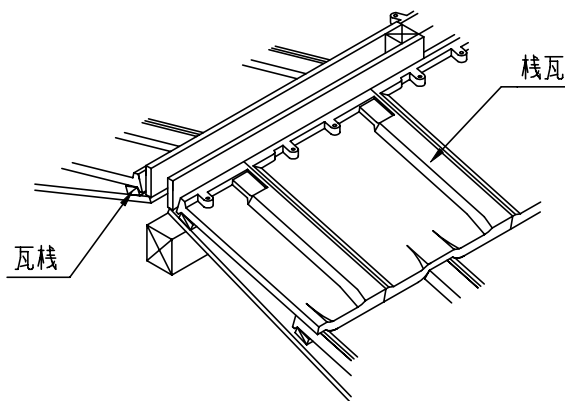
2 ルーフィングの施工

- ①防水紙はアスファルトルーフィング22kgを使用し、方立・側板部立上りも含めて全面張りとし、重ね代は縦100mm×横120mmとします。
- ②側板部に立ち上げるルーフィングは上部でステップル止めとし、下部は野地板にできるだけ密着させRを小さくしてください。
- ③排気口の端部ではルーフィングを2重貼りするか、防水テープ（2×4テープ）を使って方立材の上にかぶせます。



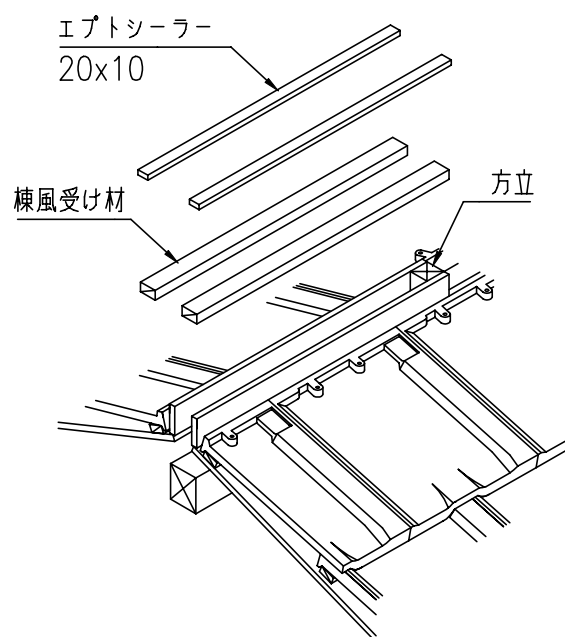
4 棧瓦の施工

- ① 棧瓦は最上部の棧瓦が排気口側板に接する位置から割付けを始めます。

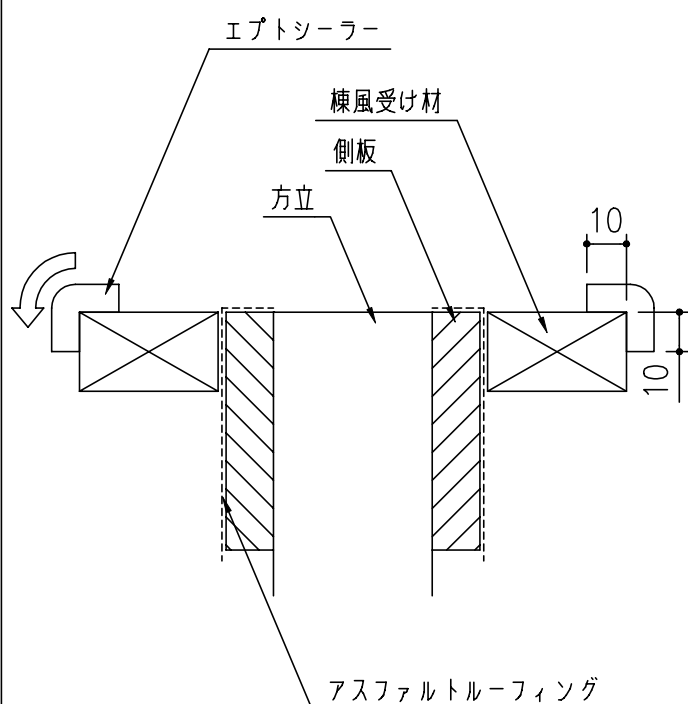


5 棟風受け材施工

- ① 棟風受け材は側板の上端に接するように水平に設置し、側板でなく方立毎に打ち付けます。



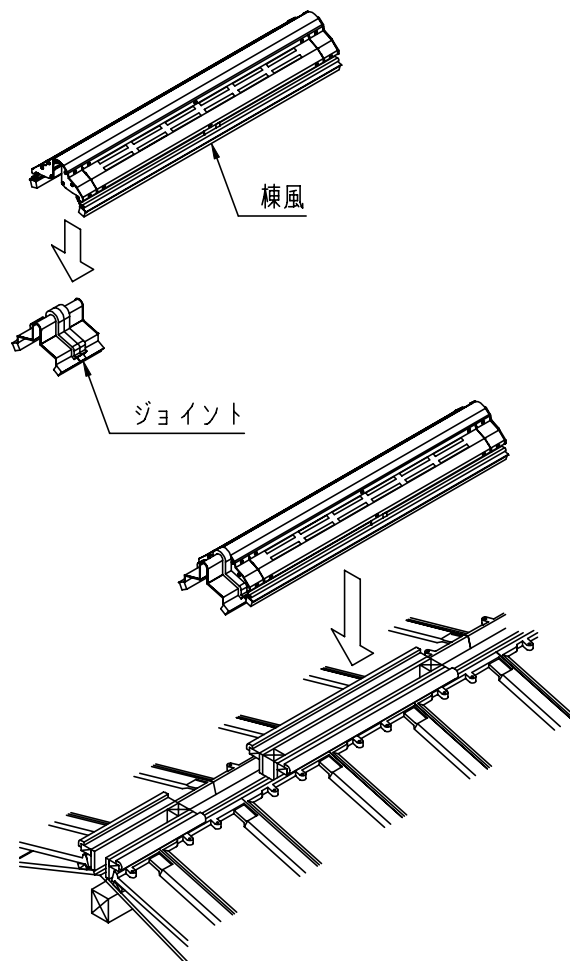
- ② 棟風受け材にエプトシーラー（20x10）を貼り付けます。貼付け位置は棟風受け材の上面・側面にそれぞれ10mm程度掛かるようにしてください。



6 棟風本体・ジョイントの施工

【接続がある場合】

- ① 2本以上取付ける場合はジョイントの中心が棟風本体の継目にくるようにあらかじめ一方の本体にはめ込み、仮置きします。



- ② 棟風相互を突き合わせ棟風受け材にセットします。
※ 目地は10mm程あけて取付けるようにしてください。
（目地は後でシーリングします。）

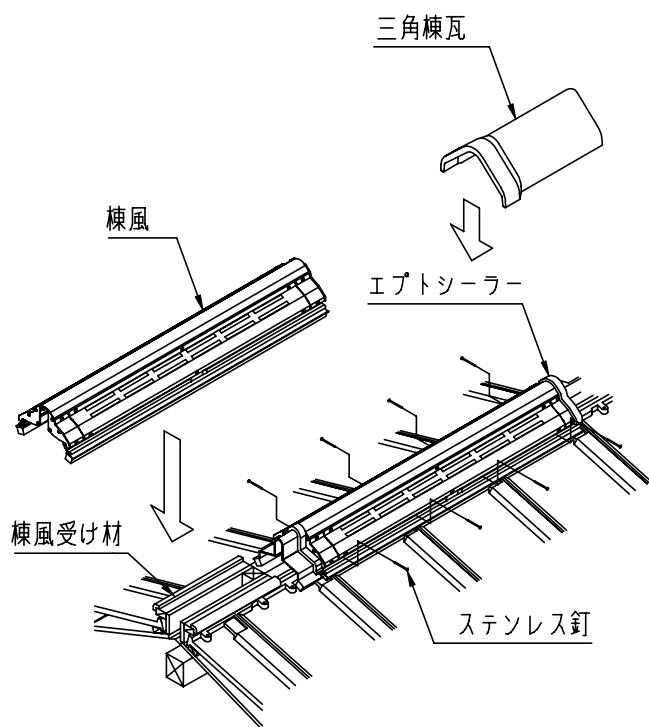
- ③ 両端に付属のエプトシーラーを取付け三角棟瓦をのせ、三角棟瓦の水平・隙間・通り及び三角棟瓦・棧瓦と棟風の接合状態等を確認します。

施工手順 (平板瓦)

④ 棟風の全箇所を付属のステンレス釘で本止めします。

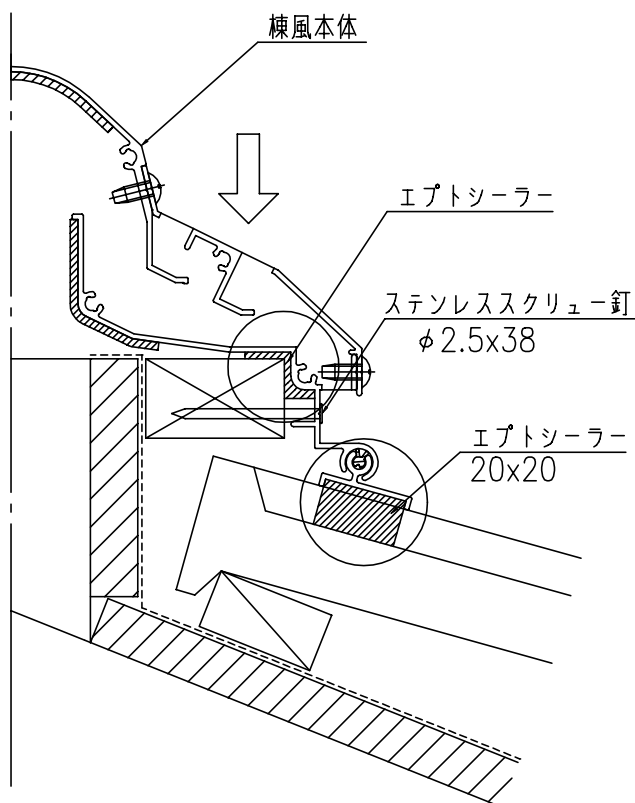
【接続がない場合】

上記項目で①、②を除きます。



< 本体固定時の注意点 >

※ 棟風本体を上から押さえ○印部をしっかり圧着しステンレス釘で本止めして下さい。



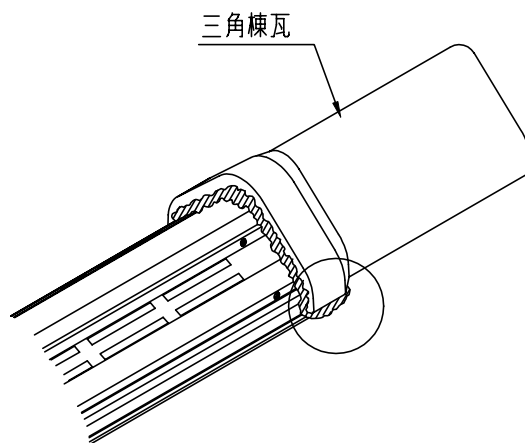
7 三角棟瓦の施工

- ① 銅線を三角棟瓦の穴に通し棟風の上に乗せかけ力を加えエプトシーラーを圧縮し、三角棟瓦の水平を確認します。
- ② 銅線を締付けしっかりと固定します。

※ 乾式工法の場合、強力棟にて支持されるタルキにパッキン付ステンレス釘にて三角棟瓦を固定しますが、この場合もしっかり棟風に圧着して下さい。

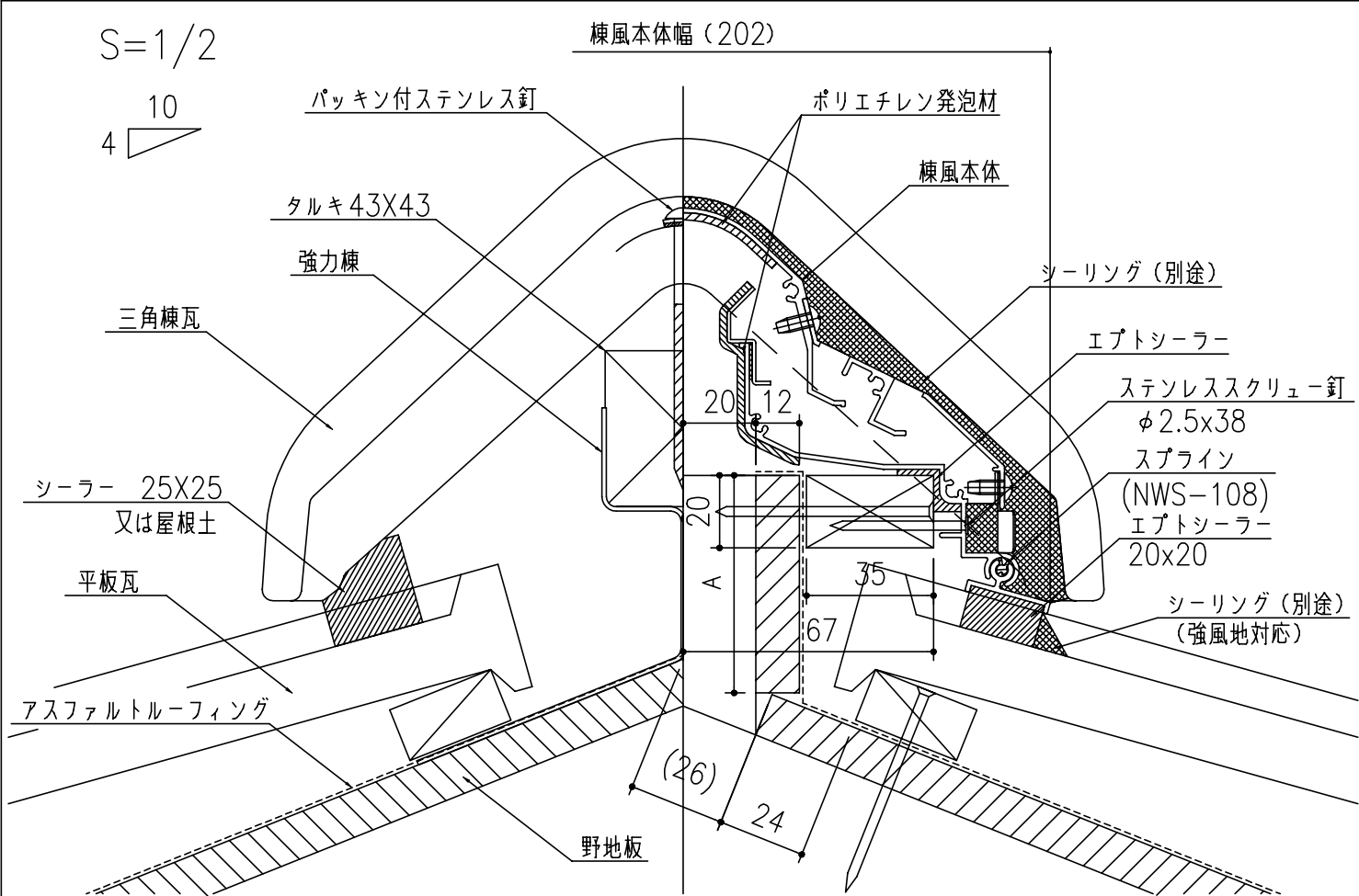
8 シーリングの施工

- ① 棟風を接続する場合、突き合わせ部にはソール材（シリコン系）を周囲を養生しながら充填します。
- ② 三角棟瓦の端部と棟風の隙間に、ソール材（シリコン系）を周囲を養生しながら充填します。
- ③ 強風・多雨地域等、防水上特に注意を必要とする場合は棟風本体下部に別途シーリングを追加してください。



※ 三角棟瓦の下（○印部）の隙間もしっかりシーリングして下さい。

基本納まり図（平板瓦）



屋根勾配	4寸	5寸	6寸	7寸	8寸	9寸	10寸
< A寸法 >	60	56	53	50	47	45	43

